



て鋭く下がり、最下部から左上方に跳ね上げる形となるもので、今回四点が確認できた(図1)。A2類型はさらに二分され、A2-1類型は、頂点から右下方に下がる線がA1類型より急角度ほぼ真下に降りる形になるもので、今回五点が確認された(図2)。A2-2類型は、花押右の線はA2-1類型と同じであるが、左下の右斜めに上がる線の起筆の「はね」のほか、その上方に点状の墨が入れられているので、今回二点が確認された(図3)。A3類型は、左下方の起筆周辺はA2-2類型と同じであるが、右の線は頂点から右下方に降りる角度がA2-1類型、A2-2類型よりやや緩やかな形をとっているもので、今回四点確認できた(図4)。

続いてB1類型は、花押右の線が左に傾く卵形をしているもので、今回四点確認できた(図5)。B2類型は、花押右側の底部から左上方に上がる線の角度が緩く膨らみながら上がる形となるもので、今回七点確認できた(図6)。B3類型は、花押右側が全体に丸みを帯びて右下方に筆が運ばれ、底部から左上方に跳ね上げられるもので、今回二三点確認できた(図7)。最後にB4類型は、花押右側が横に広がる楕円形を呈したもので、今回一点のみ確認できた(図8)。

以上八類型の花押の使用年代を見てみると、A1類型で年代確定が出来ている時期は、永祿一〇(一五六七)年一〇月のみである。以下、A2-2類型で元龜三(一五七二)年七月、A3類型で天正四(一五七六)年三月から同七年六月まで、B1類型で天正五(一五七七)年閏七月から同七年三月まで、B2類型で天正八(一五八〇)年閏三月から同一〇年七月まで、B3類型で天正一八(一五九〇)年三月から同一九

年一月まで、B4類型が天正一九年一月となっている。使用年代の重複は、A3類型とB1類型で少なくとも三カ年間あり、両者は並行して使用されていたことが分かる。B3類型とB4類型の花押についても一時的に重複していた可能性もあるが、明確にはできない。なお、A2-1類型は実年代がはっきりとした資料がなく、使用年代は明確に出来ない。

## 二 日船の花押

日船(文祿二(一五九三)年〜明暦四(一六五八)年)は、現在の岡山市北区建部町福渡の出身と伝承され、本寿院と号す。実成院の岡山の弟子である。備前国妙善寺、同蓮昌寺の住持を歴任し、寛永七(一六三〇)年に京都・妙覚寺二〇世を継承したとされる。同年、不受施派との間で身池対論が起り、不受施派の主張は退けられ、妙覚寺は不受施派の身延山久遠寺に引き渡されることになった。このため日船と妙覚寺大衆三〇人は、祖像を背負い洛北紫竹常徳寺に隠棲した。翌年一時備前に帰るが、まもなく和泉国法泉寺に赴き、不受施を堅持した。晩年福渡に帰り、小庵を設け同所で没している。

日船の花押については、妙善寺所蔵資料と妙善寺での調査中に拝見した個人蔵資料の計二八点を確認した(表2参照)。内容としては、曼荼羅本尊、一遍首題と消息である。これらを通覧すると、曼荼羅本尊・一遍首題と消息とで、花押の形態が大きく異なっている事が分かる。以下、前者をA類型、後者をB類型と呼ぶことにする。

A類型を詳細に見ると、さらに四種類(A1、A2、A3、A4)に区分

できることが分かる。

それぞれの差違を略述すると、A1類型は、外郭線が向かって左上部、向かって右下部で角張った形となり、底部は緩やかな曲線となるもので、今回三点が確認された(図9)。A2類型は、外郭線が全体的に楕円形になる反面、底部の線はやや角がつくように左右上部に上がった形となるもので、今回一点確認された(図10)。A3類型は、外郭線底部が左寄りから左右に角度をつけて上がる形で、その角度はA2類型より急である。今回は一〇点確認された(図11)。A4類型は、まず外郭線底部が緩やかになり右側は少し内側に弧を描くようになる。さらにそのあと底部右端から鋭角に上がる形となるもので、今回一点が確認された(図12)。

A類型の花押について年代を見ると、A1類型で年代確定ができてくる時期は、寛永一一(一六三四)年四月から翌四月までである。以下、A2類型は寛永一三(一六三六)年三月、さらにA3類型が寛永一五(一六三八)年三月から寛永一八(一六四一)年まで、A4類型が寛永一九(一六四二)年七月から承応四(一六五五)年四月までとなっている。これら四類型の花押は、使用される期間の重複は一応見られないため、A1類型→A2類型→A3類型→A4類型の順で、日船の花押は変化していったことが分かる。

B類型の花押は、外郭線が円形を呈しており(図13)、A類型と形状が異なっている。また、B類型は消息類でしか見られない。実年代については、現段階では確定できない。

おわりに

最後に、ここまでの検討内容を整理する。まず日典の花押の変遷についてまとめると次の通りである。

A1類型…永禄一〇年一〇月以前～元亀三年七月以前

A2・2類型…元亀三年七月以前～天正四年三月以前

A3類型…天正四年三月以前～同七年六月以前

B1類型…天正五年閏七月以前～同八年閏三月以前

B2類型…天正八年閏三月以前～同一年三月以前

B3類型…天正一八年三月以前～同一年一月

B4類型…天正一八年一月～?

以上の使用時期の区分は、A3類型とB1類型、B3類型とB4類型以外重複する時期がない前提で示している。このため、今後の調査等の進展により変動する可能性がある。また、A2・1類型の実年代は不明であるが、花押の変化過程、つまりA2・2類型以後の花押にある「左下の右斜めに上がる線の起筆の「はね」のほか、その上方に点状の墨が入れられている」という特徴がないことから、A1類型とA2・2類型の間に位置するのではないかと考える。

続いて、日船の花押の変遷について整理すると次の通りである。

A1類型…寛永一一年四月以前～同二年四月～同三年三月以前

前

A2類型…寛永一三年三月以前～同一年三月以前

A3類型…寛永一五年三月以前～同一年八月～同一年七月以前

A4類型…寛永一九年七月以前（承応四年四月）

B類型…時期不明。消息のみに使用していた可能性あり。

A類型の花押は、使用時期が明確に分かれており、何らかの事由を契機に花押を変えていた可能性が考えられる。ただ、「何らかの事由」は今回判断できなかった。また、A1類型以前、A4類型以後の花押についても未確認のため検討できなかった。しかし、A4類型の花押だけが他の類型より使用期間が長いため、最期までA4類型の花押を使用していた可能性が考えられる。また、日船は、曼茶羅本尊や一遍首題等と消息類では花押が全く異なっており、使用目的による使い分けを行っていたと思われる。

今回日典及び日船花押の時期的変遷については大まかな試案をとりまとめることができたが、無年号資料の年次推定まで検討が及ばなかった。以後の課題としたい。

〈付記〉

妙善寺所蔵資料の調査については、井本伸夫様を始めとする妙善寺の皆様が大変お世話になった。記して謝意を表したい。なお、今回の調査は、本館元統括学芸員中田利枝子及び学芸員岡崎有紀とともに実施したものである。

《註》

- (1) 館鼻誠「毛利輝元文書の基礎研究」(『古文書研究』第二六号、一九八六年)、滋賀県立安土城考古博物館編・発行『信長文書の世界』(二〇〇〇年)、寺尾英智「日蓮宗不受不施派祖日奥の花押とその変遷」(『日蓮仏教研究』第一〇号、二〇一九年)など。なお、筆者も宇喜多直家の花押の変遷について検討した「宇喜多直家発給文書編年化への一試案」(大西泰正編『備前宇喜多氏』岩田書店、二〇一二年)を発表している。
- (2) 註(1) 寺尾論文。
- (3) 日蓮宗不受不施派研究所編、日蓮宗不受不施派御遠忌記念事業執行委員会、一九八二年。
- (4) 岡山県立博物館編・発行、二〇一九年。
- (5) 頂岳龍乗編、本山妙覚寺、二〇〇三年。

表1 日典花押一覧

番号	資料名	年代	花押類型	資料番号、出典
1	日典曼荼羅本尊	永祿10年10月30日	A1	ホ-15
2	日典曼荼羅本尊	元龜3年7月	A2-2	『妙覺寺寺宝集成』158頁
3	日典曼荼羅本尊	天正4年3月	A3	ホ-141-1
4	日典消息（妙善寺御衆中旦中宛）	天正5年閏7月25日	B1	『不受不施遺芳』24頁
5	坊号事	天正7年3月	B1	『不受不施遺芳』31頁
6	日典曼荼羅本尊	天正7年6月28日	A3	『不受不施遺芳』5頁
7	日典消息（実教寺宛）	天正8年閏3月28日	B2	ダ-1-1
8	日典曼荼羅本尊	天正8年4月	B2	『岡山の日蓮法華』56頁
9	日典先徳曼荼羅本尊	天正9年4月	B2	ホ-139
10	日典曼荼羅本尊	天正10年4月	B2	ホ-22-3
11	日典消息（円乗院ほか宛）	（天正10年）7月5日	B2	『不受不施遺芳』35頁
12	坊号事	天正18年3月28日	B3	『不受不施遺芳』42頁
13	日典曼荼羅本尊	天正19年11月	B3	キ-12-1
14	日典曼荼羅本尊	天正19年11月	B4	ホ-140
15	日典消息（蓮住雅老宛）	（年未詳）1月11日	B3	キ-15
16	日典消息（藤田二郎四郎宛）	（年未詳）2月28日	B3	キ-71-1
17	日典消息（華徳院宛）	（年未詳）9月20日	B1	キ-31
18	日典消息（松田孫次郎宛）	（年未詳）5月21日	A1	『不受不施遺芳』11頁
19	日典消息（檜原三郎左衛門尉宛）	（年未詳）6月1日	A2-1	『不受不施遺芳』12頁
20	日典消息	（年未詳）8月5日	A2-1	『不受不施遺芳』14頁
21	日典消息（円乗坊・常林院宛）	（年未詳）8月5日	A2-1	『不受不施遺芳』15頁
22	日典消息（□乗坊宛）	（年未詳）12月6日	A1	『不受不施遺芳』16頁
23	日典消息（宗古雅□宛）	（年未詳）10月7日	B3	『不受不施遺芳』17頁
24	日典消息（円頓坊・世安宛）	（年未詳）2月8日	B3	『不受不施遺芳』19頁
25	日典消息（道教雅翁宛）	（年未詳）2月20日	B2	『不受不施遺芳』20頁
26	日典消息（妙円寺・野上源右衛門尉宛）	（年未詳）8月11日	A2-1	『不受不施遺芳』21頁
27	日典消息（常在寺宛）	（年未詳）8月23日	B1	『不受不施遺芳』22頁
28	日典消息（夕庵・徳斎宛）	（年未詳）1月26日	A3	『不受不施遺芳』25頁
29	日典消息（檜原又七郎宛）	（年未詳）3月13日	B3	『不受不施遺芳』26頁
30	日典消息	（年未詳）4月21日	A2-2	『不受不施遺芳』27頁
31	日典消息（本行寺宛）	（年未詳）5月22日	B3	『不受不施遺芳』28頁
32	日典消息（弘経寺宛）	（年未詳）4月20日	B3	『不受不施遺芳』30頁
33	日典消息（富山藤内丞宛）	（年未詳）8月11日	B3	『不受不施遺芳』37頁
34	日典消息（願心寺宛）	（年未詳）9月13日	A2-1	『不受不施遺芳』38頁
35	日典消息	（年未詳）9月28日	B2	『不受不施遺芳』40頁
36	日典消息（円住院宛）	（年未詳）11月	A1	『不受不施遺芳』41頁
37	日典消息（有林□□宛）	（年未詳）6月27日	B3	『不受不施遺芳』47頁
38	日典消息	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』49頁

番号	資料名	年代	花押類型	資料番号、出典
39	日典消息（宇喜多河内入道宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』50頁
40	日典消息（円住坊宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』52頁
41	日典消息	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』53頁
42	日典消息（宇垣一郎兵衛宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』54頁
43	日典消息	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』55頁
44	日典消息	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』56頁
45	日典消息（岡長介宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』57頁
46	日典消息（深妙院宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』58頁
47	日典消息（高田孫兵衛尉宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』59頁
48	日典消息（花徳院宛）	（年未詳）正月11日	B3	『不受不施遺芳』60頁
49	日典消息（本迹院宛）	（年未詳）5月3日	A3	『不受不施遺芳』61頁
50	日典消息（法音院宛）	（年未詳）3月28日	B3	『不受不施遺芳』63頁

表2 日船花押一覧

番号	資料名	年代	花押類型	資料番号、出典
1	日船曼荼羅本尊	寛永11年4月	A1?	ホ-188
2	日船曼荼羅本尊	寛永12年4月12日	A1	ホ-100-5
3	日船曼荼羅本尊	寛永12年4月	A1	ホ-192
4	日船曼荼羅本尊	寛永13年3月	A2	ホ-191
5	日船曼荼羅本尊	寛永15年3月	A3	ダ-21
6	日船先徳曼荼羅本尊	寛永15年3月	A3	ダ-22
7	日船十羅刹女曼荼羅本尊	寛永15年3月	A3	ダ-23
8	日船曼荼羅本尊	寛永16年4月18日	A3	キ-12-3
9	日船曼荼羅本尊	寛永17年3月	A3	ダ-6
10	日船曼荼羅本尊	寛永17年7月	A3	ホ-32
11	日船曼荼羅本尊	寛永17年9月	A3	ホ-189
12	日船曼荼羅本尊（日蓮御影入り）	寛永18年2月時正仲日	A3	キ-58
13	日船曼荼羅本尊	寛永18年11月4日	A3	ホ-187
14	日船一遍首題	（年月日未詳）	A3	ホ-89
15	日船曼荼羅本尊	寛永19年7月5日	A4	（個人蔵）
16	日船曼荼羅本尊	寛永20年8月彼岸初日	A4	ホ-88
17	日船曼荼羅本尊	正保2年2月25日	A4	ホ-190-1
18	日船先徳曼荼羅本尊	正保2年2月25日	A4	ホ-190-2
19	日船十羅刹女曼荼羅本尊	正保2年2月25日	A4	ホ-190-3
20	日船曼荼羅本尊	正保3年4月25日	A4	ダ-7
21	日船曼荼羅本尊	正保4年6月17日	A4	ホ-193
22	日船曼荼羅本尊	慶安3年2月24日	A4	ホ-23
23	日船曼荼羅本尊	慶安3年8月	A4	ダ-5
24	日船曼荼羅本尊	承応4年4月8日	A4	（個人蔵）
25	日船一遍首題	（年未詳）7月25日	A4	ダ-5
26	日船消息（黒田□□老宛）	（年未詳）11月4日	B	ホ-61
27	日船消息（正寿院宛）	（年未詳）梅月11日	B	ダ-1-3
28	日船消息（宛名判読不可）	（年未詳）11月25日	B	キ-71-3



图 1

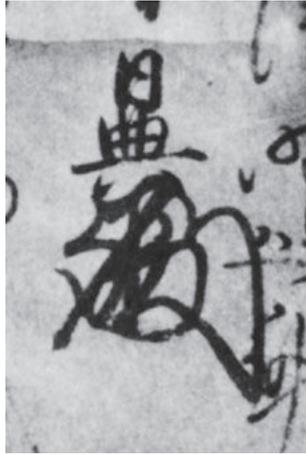


图 2



图 3

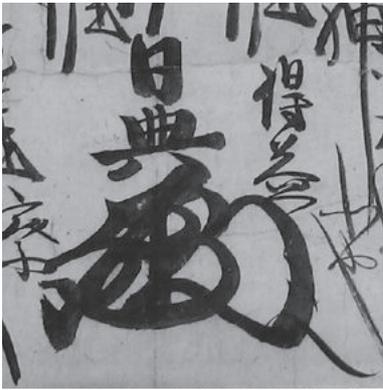


图 4



图 5



图 6



图 7

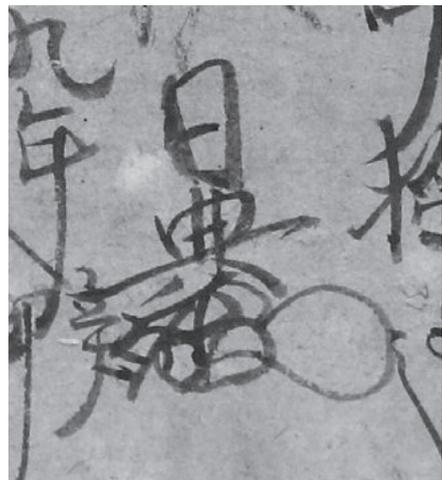


图 8



图9



图10

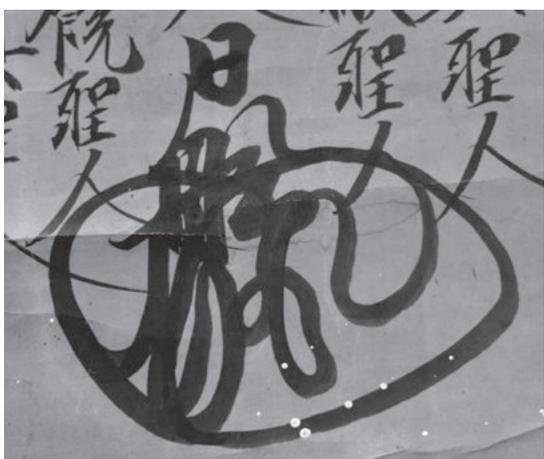


图11

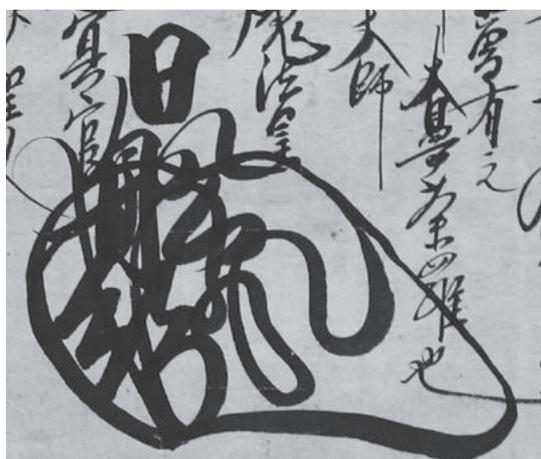


图12

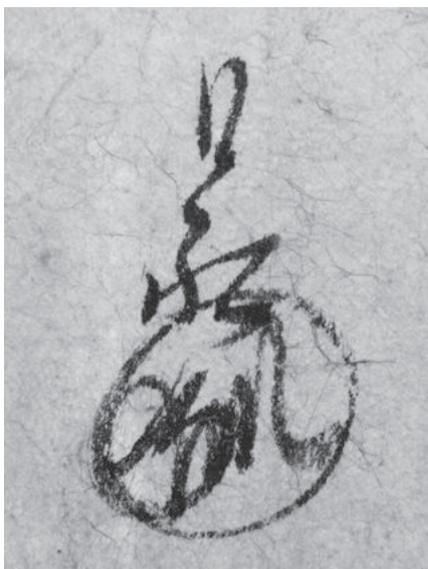


图13

